

年間教授計画 2024年度 (4月～2月)

科目	対象	担当	教科書	授業数	年間授業時間
サイバーセキュリティII	クラス: 2年 A組 学科: 情報テクノロジー科 コース: サイバーセキュリティコース	金谷	教科書: 徹底攻略 情報処理安全確保支援士 教科書令和6年度	4 時間/週	120 時間

授業概要	教科書と教材、及び本試験過去問題を使用しサイバーセキュリティについて理解を深める。
最終到達目標	情報システムのセキュリティに関する知識を習得。セキュリティ対策を実践できる人材を目指し情報処理安全確保支援士資格取得。

月	週	単元	内容および授業方法				
前期 (4月～9月)	1	情報セキュリティとは	情報セキュリティとは(講義)				
	2		情報セキュリティ対策の制度・仕組み(講義)				
	3		本試験過去問題(講義・演習)				
	4	情報セキュリティマネジメント	情報セキュリティマネジメント、リスクマネジメント、個人情報マネジメント(講義)				
	5		法律、標準、監査、内部統制(講義)				
	6		本試験問題演習(講義・演習)				
	7	ネットワーク基礎技術	TCP/IP、LAN/WAN(講義)				
	8		アプリケーションプロトコル(講義)				
	9		仮想化とクラウド、本試験問題演習(講義・演習)				
	10	情報セキュリティ基礎技術	暗号化、認証(講義)				
	11		アクセス制御技術、アクセス管理(講義)				
	12		本試験問題演習(講義・演習)				
	13	情報セキュリティ実践技術	セキュリティプロトコル(講義)				
	14		アプリケーションセキュリティ、ハードウェアセキュリティ(講義)				
	15	授業内試験	1～14回の授業のまとめの試験(期末試験)				
後期 (10月～2月)	1	サイバー攻撃	バッファオーバーフロー攻撃、Webサイト攻撃(講義)				
	2		インジェクション攻撃、サイドチャネル攻撃(講義)				
	3		セッション乗っ取り、プロトコルの脆弱性を突く攻撃(講義)				
	4		その他の攻撃(Dos攻撃、パスワード、ソーシャルエンジニアリング、標的型)(講義)				
	5	マルウェア対策	マルウェアの種類(講義)				
	6		マルウェア検出方法と対策(講義)				
	7		サイバー攻撃、マルウェア対策の本試験問題演習(講義・演習)				
	8	システム開発とセキュアプログラミング	システム開発の工程、管理(講義)				
	9		プログラム言語のセキュリティ、セキュアプログラミング(講義)				
	10		本試験問題演習(講義・演習)				
	11	ケーススタディ・実習	ネットワーク、サイバーセキュリティ実習(アプリ活用した実習)				
	12	本試験受験対策I	本試験過去問題(午前II問題)の演習と解答(講義・演習)				
	13	本試験受験対策II	本試験過去問題(午後問題)の演習と解答(講義・演習)				
	14	授業内試験	後期1～13回の授業のまとめの試験(期末試験)				
	15	1年間のまとめ	科目全体のまとめ(講義)				
成績評価方法	項目 ※1	授業内試験	小テスト	課題内容	出欠状況	授業態度	その他 ()
	割合	前期	60%	20%		20%	
		後期	60%	20%		20%	
備考 ※2	『情報処理安全確保支援士』合格者は期末試験を100点とする。						

※1 授業内試験: 期間内の総まとめの試験/小テスト: 単元ごとのテスト等/課題内容: 課題提出および課題の出来具合
その他: ()に具体的内容を記載。(例)外部実習評価
※2 備考については、資格取得に対する加点、学習に当たっての留意事項等、上記以外の項目に記載すべきものがある場合に記入。